

**キエビネ**

*Calanthe striata* R.Br.

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：絶滅危惧ⅠB類

被子植物門 単子葉類

ラン科

**選定理由**

おもに園芸・販売目的の採取により減少。自然条件下での生育個体数は少なく、採集や生育環境の悪化により消滅する可能性が高い。

**存続を脅かす要因**

業者・マニア採取、森林伐採、その他（近縁種との交雑(エビネ)）

**分布状況**

岡山県内では新見市、岡山市でわずかに記録があるのみ。県外では本州のおもに西部、四国、九州に分布。

**生育情報**

暖地の樹林下に生える多年草。エビネに似ているが、全体大型で花は鮮黄色、唇弁の中裂片が2裂しない点が異なる。葉は2～3枚根生し、長さ20～30cm、幅5～10cm。花は4～5月、30～50cmの花茎に10個前後の花をまばらな総状につける。がく片は卵状長だ円形、長さ22～34mm、幅7～13mmあり、エビネより大きい。花の距はがく片より短い。エビネとの間にタカネ（タカネエビネ/ソノエビネ *C. × bicolor*）という雑種を生じる。

**特記事項**

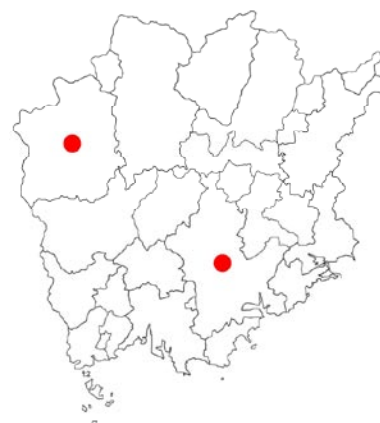
「自然公園法」により瀬戸内海国立公園、大山隠岐国立公園において指定植物に指定されている。

文献番号 4, 23, 24, 76, 128

(片岡博行)



撮影：地職恵



**サルメンエビネ**

*Calanthe tricarinata* Lindl.

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

被子植物門 単子葉類

ラン科

**選定理由**

岡山県内における自生地はきわめて限定されており、園芸目的の採取、常緑針葉樹の植林による生育環境の悪化により減少しつつある。

**存続を脅かす要因**

産地局限、業者・マニア採取、森林伐採、林相変化（針葉樹林転換）

**分布状況**

県内では、真庭市のごく限られた地域にのみ分布する。県外では北海道、本州、四国、九州に分布。国外では台湾、ヒマラヤに分布。

**生育情報**

ブナ帯の夏緑広葉樹林下に生える多年草。葉は2～4枚根生し、長さ15～40cm、幅3～8cmの倒卵状狭長だ円形で無毛、先はとがる。花は5～6月、高さ30～50cmの花茎に7～15花をまばらな総状につける。がく片、側花弁は黄緑色。唇弁は紫褐色～朱紅褐色を帯び、下垂してがく片と同長、3裂する。側裂片は小さく、中央裂片は大きくてふちが縮れ、中央に3個のとさか状突起がある。花に距はない。和名は唇弁が赤みを帯びてしわがある様子を猿の顔に例えたもの。

**特記事項**

「自然公園法」により氷ノ山後山那岐山国定公園において指定植物に指定されている。

文献番号 4, 76, 128

(片岡博行)



撮影：片岡博行

